

神奈川県立保健福祉大学における教育の内部質保証に関する方針に基づく点検及び評価のガイドライン

内部質保証推進部会
令和3年10月26日決定
令和4年7月29日改正

神奈川県立保健福祉大学における教育の内部質保証に関する方針の実施にあたり、点検及び評価のガイドラインを定める。

1 自己点検・評価の対象

本学における自己点検及び評価の対象は、以下のとおりとする。

- ・教育課程に関すること
- ・学生支援に関すること
- ・学生受入に関すること
- ・教育研究活動支援に関すること
- ・組織・教育環境整備に関すること

2 自己点検・評価項目等

自己点検・評価実施機関等については別表1、自己点検・評価項目は別表2のとおりとする。なお、自己点検の際に使用する根拠資料については、自己点検・評価実施機関の判断で追加等することができる。また、自己点検・評価結果を記録、報告する際の様式は別紙のとおりとする。

3 具体の自己点検・評価の方法

自己点検・評価は、毎年実施する教育の内部質保証に係る定量的及び定性的な情報を収集・分析し、明らかとなった課題について、必要に応じて改善を図る取り組み（以下「モニタリング」という。）及び毎年度の自己点検結果を踏まえ、5、6年ごとに評価等を実施する取り組み（以下「レビュー」という。）により行う。

(1) モニタリング（毎年度実施）

ア 総務・企画委員会、教務委員会、学生委員会、進路支援ワーキンググループ、学部入試委員会、FD・SD委員会

各委員会ですら管する定量的及び定性的な情報を収集・分析し、所管する項目の点検・評価を行う。点検・評価結果、改善結果等について内部質保証推進部会及び保健福祉学部各学科へ提出する。

イ 保健福祉学部各学科・専攻

前項により提出のあった各委員会の点検・評価結果を活用し、学位プログラムの観点から点検・評価を行う。点検・評価結果、改善結果等について内部質保証推進部会へ提出する。

ウ 保健福祉学研究科運営会議、保健福祉学研究科入試委員会

所管する定量的及び定性的な情報を収集・分析し、所管する項目の点検・評価を行う。点検・評価結果、改善結果等について内部質保証推進部会及び保健福祉学研究科へ提出する。

エ 保健福祉学研究科

前項により提出のあった点検・評価結果を活用し、学位プログラムの観点から点検・評価を行う。点検・評価結果、改善結果等について内部質保証推進部会へ提出する。

オ ヘルスイノベーション研究科運営会議、ヘルスイノベーション研究科入試委員会

所管する定量的及び定性的な情報を収集・分析し、所管する項目の点検・評価を行う。点検・評価結果、改善結果等について内部質保証推進部会及びヘルスイノベーション研究科へ提出する。

カ ヘルスイノベーション研究科

前項により提出のあった点検・評価結果を活用し、学位プログラムの観点から点検・評価を行う。点検・評価結果、改善結果等について内部質保証推進部会へ提出する。

キ 科目担当教員

各委員会又は学科等で共有する点検・評価結果を活用し、各授業科目レベルで点検・評価を行う。点検・評価結果、改善結果等について学科長等へ提出する。

ク 内部質保証推進部会

各自己点検・評価実施機関から提出された評価結果の取りまとめを行い、全学的な観点から自己点検・評価を行う。自己点検・評価結果は自己評価・内部質保証審査会に報告する。

また、自ら実施した自己点検・評価結果及び各自己点検・評価実施機関が実施した自己点検・評価結果等を踏まえて必要に応じ改善案を作成し、自己評価・内部質保証審査会の評価を受ける。

(2) レビュー（5、6年ごとに実施）

客観的根拠に基づき継続的な教育の質の改善・向上を図るため、毎年度実施した自己点検結果を踏まえ、複数年分の自己点検・評価結果を検証する。

また、その結果について機関別認証評価等の外部評価を実施する。

なお、別表2においてレビュー時に点検することが定められている項目についてもあわせて実施する。

別表 1

担当	自己点検・評価実施機関等
教育課程	保健福祉学部長 看護学科長 栄養学科長 社会福祉学科長 リハビリテーション学科長 理学療法学専攻長 作業療法学専攻長 人間総合科長 保健福祉学研究科長 ヘルスイノベーション研究科長 教務委員長
学生支援	学生委員長 進路支援ワーキンググループ長
学生受入	学部入試委員長 保健福祉学研究科入試委員長 ヘルスイノベーション研究科入試委員長
教育研究活動支援	FD・SD 委員長
組織・教育環境整備	総務・企画委員長 人権・倫理委員長

報告書

令和 年 月 日

自己点検・評価実施機関名	<input type="checkbox"/> モニタリング（毎年）
	<input type="checkbox"/> レビュー（5～6年毎）
対象期間	
令和 年 月 日 ～令和 年 月 日	
評価観点（番号）	

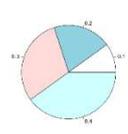
内容	
モニタリング又はレビュー結果	
課題	
関連資料	

*経年比較の視点を踏まえた記載をお願いします

報 告 書

令和 年 月 日

自己点検・評価実施機関名	<input checked="" type="checkbox"/> モニタリング（毎年）
○○学科	<input type="checkbox"/> レビュー（5～6年毎）
対象期間	
令和3年4月1日 ～令和4年3月31日	
評価観点（番号）	
学位授与方針に即して適切な理由指導、支援が行われていること（5-1）	

内容	<p>○○○○○○○○○○（根拠資料データを利用した分析の結果明らかになったこと、分析結果に基づき対応したことなどを記入）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center;">【図 ○○○】 【表 ○○○】</p> <p>○○○○○…………</p>
モニタリング又はレビュー結果	○○○○…（内容に対する大学の評価を記載、分析に基づき改善の取り組みを行っている場合はその内容をあわせて記載）
課題	○○…（今後検討すべき課題、または全学的に対応すべき課題を記載）
関連資料	根拠資料、データ

担当	実施時期 (頻度)	モニタリング・レ ビュー実施機関	評価観点	番号	実施機 関	視点の例	モニタリング・レビュー 根拠資料・データ例
教育課程	5,6年毎 又は方針 に変更が あった時	保健福祉学各学科・各 専攻 保健福祉学研究科 ヘルスイノベーション 研究科	1 学位授与方針が大学等の目的に則して定められていること 学位授与方針が具体的かつ明確であること 学修成果の達成が授与する学位に相応しい水準になっていること 教育課程方針が大学等の目的及び学位授与方針と整合性をもって定められていること 3つのポリシーの整合性、一貫性があること	1-1	各学科	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生が身に付けるべき資質・能力の目標が明確になっているか。 ・ 学生が身に付けることが期待される学修成果（「何ができるようになるか」）が、大学が目指す人材育成目的や各分野において学位に期待される内容と比べて、適切な内容や水準となっているか。 ・ 育成する人材像と期待される学修成果が、学問分野や社会の人材養成のニーズ等に 応えたものになっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公表済み学位授与方針 教育課程方針 ・ 教育等に関するアンケート結果 ・ 専門職団体における期待される能力を示した資料 ・ 各種の資格試験の実施要項等に定められた能力との比較。 ・ 他大学の類似プログラムにおける期待される学修成果の内容との比較。 ・ プログラム設計における外部者の関与
					各研究 科	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生が身に付けるべき資質・能力の目標が明確になっているか。 ・ 学生が身に付けることが期待される学修成果（「何ができるようになるか」）が、大学が目指す人材育成目的や各分野において学位に期待される内容と比べて、適切な内容や水準となっているか。 ・ 育成する人材像と期待される学修成果が、学問分野や社会の人材養成のニーズ等に 応えたものになっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学位授与方針 ・ シラバス ・ 修了生の社会での活動状況の把握
					各学科	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育課程方針が、教育課程の編成の方針、当該教育課程における学習方法、学習過程、学習成果の評価の方針を具体的に示しているか。 ・ 学位授与方針と整合した教育課程方針になっているか。 ・ アクティブ・ラーニングの充実等、大学教育の質の向上に向けた取組の充実を重視したポリシーになっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学の基本理念 ・ 学位授与方針 ・ 教育課程方針
					各研究 科	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育課程方針が、教育課程の編成の方針、当該教育課程における学習方法、学習過程、学習成果の評価の方針を具体的に示しているか。 ・ 学位授与方針と整合した教育課程方針になっているか。 ・ アクティブ・ラーニングの充実等、大学教育の質的転換に向けた取組の充実を重視したポリシーになっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学の基本理念 ・ 学位授与方針 ・ 教育課程方針
教育課程	5,6年毎 又は方針 に変更が あった時	保健福祉学各学科 保健福祉学研究科 ヘルスイノベーション 研究科 教務委員会	3 教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程 方針に則して、体系的であり相応しい水準であること	3-1	各学科	<ul style="list-style-type: none"> ・ カリキュラム・ポリシーに基づいて、ディプロマ・ポリシーに定められた学修成果とカリキュラムとの対応がとられているか。 ・ 教育課程の編成又は授業科目が、その内容、水準が授与される学位名において適切なものになっているか。 ・ 教育の目的や授与される学位に照らして、それにふさわしい教育の効果が見込める幅広さと深さを提供しているか。 ・ 学術の発展動向を踏まえたカリキュラムとなっているか、改定をしているか。 ・ 初年次教育の実施、教養教育及び専門教育のバランス、必修科目・選択科目等の配当やコース・ナンバリング等によって、教育課程の編成・実施方針に基づいて授業科目が履修の順序関係を明確にして配置され、教育課程の体系的性が確保されているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ カリキュラム・マップ、コース・ツリー、履修モデル、コース・ナンバリング等。 ・ 各分野や専門職のためのモデルカリキュラムや認定要件（保健分野における学校指定規則など） ・ 他大学の類似プログラムとの内容の比較。 ・ 授業評価
					各研究 科	<ul style="list-style-type: none"> ・ カリキュラム・ポリシーに基づいて、ディプロマ・ポリシーに定められた学修成果が得られるカリキュラムとなっているか。 ・ 教育課程の編成又は授業科目が、その内容、水準が授与される学位名において適切なものになっているか。 ・ 教育の目的や授与される学位に照らして、それにふさわしい教育の効果が見込める幅広さと深さを提供しているか。 ・ 学術の発展動向を踏まえたカリキュラムとなっているか、改定をしているか。 ・ 共通科目及び専門科目のバランス、必修科目・選択科目等の配当やコース・ナンバリング等によって、教育課程の編成・実施方針に基づいて授業科目が履修の順序関係を明確にして配置され、教育課程の体系的性が確保されているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ カリキュラム・マップ、コース・ツリー、履修モデル、シラバス、コース・ナンバリング等。
				3-2	教務委 員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ カリキュラム・ポリシーに基づいて、ディプロマ・ポリシーに定められた学修成果とカリキュラムとの対応がとられているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 象徴科目、人間総合教育科目、連携実践教育科目のカリキュラムマップ ・ 象徴科目、人間総合教育科目、連携実践教育科目の授業評価 ・ カリキュラム内容（象徴科目、人間総合教育科目、連携実践教育科目）に関する評価（卒業年次生への調査）
教務委 員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学術の発展動向を踏まえたカリキュラムとなっているか、改定をしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ カリキュラムの見直しや改正に伴う象徴科目、人間総合教育科目、連携実践教育科目のシラバス等の検討・変更状況 					

担当	実施時期 (頻度)	モニタリング・レ ビュー実施機関	評価観点	番号	実施機 関	視点の例	モニタリング・レビュー 根拠資料・データ例
教育課程	毎年	保健福祉学各学科 保健福祉学研究科 ヘルスイノベーション 研究科 教務委員会	4 学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業方法内容が学生に対して明示されていること	4-1	各学科	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義、演習、実験、実習等の授業形態の組合せ・バランスが適切であり、それぞれの教育内容に応じた適切な学修指導法が採用されているか。 ・ アクティブ・ラーニング、少人数授業、対話・討論型授業、PBL型授業、フィールド型授業、講義や実験等の併用型授業、多様なメディアを高度に利用した授業、TAの活用、インターンシップ、留学・国際経験、地域コミュニティとの共同による教育など、適切な学修指導法の工夫がなされているかについて分析。 ・ 単位の実質化への配慮がなされているか。 ・ 学生の主体的な学修を促し、十分かつ必要な学修時間を確保するような工夫がなされているか（学生が準備学修・復習等、主体的な学修を行えるような授業時間外の学修時間の確保、学生の主体的な学修を促すための組織的な履修指導、シラバスを利用した準備学修の指示、レポート提出や小テストの実施、履修科目の登録の上限設定等）。 ・ 適切なシラバスが作成され、活用されているか（授業名、担当教員名、授業の目的・到達目標、各回の授業内容、成績評価方法、成績評価基準、準備学修等についての具体的な指示、教科書・参考文献、履修条件等が記載されているか）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生便覧、シラバス、授業科目案内、履修要項等、教育課程の中での授業形態の組合せ・バランスが確認できる資料。 ・ 学修指導法の工夫が確認できる資料（シラバス、受講学生数（履修学生数、単位修得学生数）が確認できる資料、該当する事柄を記した冊子等の資料）。 ・ 1年間の授業を行う期間及び各授業科目の授業を行う期間が確認できる資料（学年暦、年間スケジュール等）。 ・ 学生の学修時間に関する調査結果。 ・ 授業時間外の学修を促すための工夫について、その実施状況が確認できる資料 ・ 学外実習に関する資料（栄養学科：臨地実習における実習ノートなどの資料。）
					各研究科	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義、演習等の授業形態の組合せ・バランスが適切であり、それぞれの教育内容に応じた適切な学修指導法が採用されているか。 ・ アクティブ・ラーニング、少人数授業、対話・討論型授業、PBL型授業、フィールド型授業、講義や実験等の併用型授業、多様なメディアを高度に利用した授業、TAの活用、インターンシップ、留学・国際経験、地域コミュニティとの共同による教育など、適切な学修指導法の工夫がなされているかについて分析。 ・ 単位の実質化への配慮がなされているか。学生の主体的な学修を促し、十分かつ必要な学修時間を確保するような工夫がなされているか（学生が準備学修・復習等、主体的な学修を行えるような授業時間外の学修時間の確保、学生の主体的な学修を促すための組織的な履修指導、シラバスを利用した準備学修の指示、レポート提出や小テストの実施、履修科目の登録の上限設定等）。 ・ 適切なシラバスが作成され、活用されているか（授業名、担当教員名、授業の目的・到達目標、各回の授業内容、成績評価方法、成績評価基準、準備学修等についての具体的な指示、教科書・参考文献、履修条件等が記載されているか）。 ・ オンライン授業、対面授業の特色を生かした活用によって、学修成果を促進するように授業設計がなされているかどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生便覧、シラバス、授業科目案内、履修要項等、教育課程の中での授業形態の組合せ・バランスが確認できる資料。 ・ 学修指導法の工夫が確認できる資料（シラバス、受講学生数（履修学生数、単位修得学生数）が確認できる資料、該当する事柄を記した冊子等の資料）。 ・ 1年間の授業を行う期間及び各授業科目の授業を行う期間が確認できる資料（学年暦、年間スケジュール等）。 ・ TAを活用している授業数 ・ オンライン授業を含めた授業方針、方法の評価（教員および学生対象の調査） ・ LMSの導入、Wifiの整備、パソコンの貸与等学習環境の整備状況、コロナ禍に応じた時間割や授業方法の調整状況 ・ （学生による）授業評価を反映した授業改善の状況
					教務委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ オンライン授業、対面授業の特色を生かした活用によって、学修成果を促進するように授業設計がなされているかどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学全体の授業方針の決定と周知 ・ オンライン授業を含めた授業方針、方法の評価（教員および学生対象の調査予定） ・ 授業評価結果を反映した授業改善の状況（調査予定） ・ LMSの導入、Wifiの整備、パソコンの貸与等学習環境の整備状況、コロナ禍に応じた時間割や授業方法の調整状況
	毎年	保健福祉学各学科 保健福祉学研究科 ヘルスイノベーション 研究科 学生委員会 教務委員会	5 学位授与方針に則して適切な履修指導、支援が行われていること	5-1	各学科	<ul style="list-style-type: none"> ・ ガイダンス、担任制、学習成果の状況の組織的把握と対応、学習計画の指導、能力別クラス分け、基礎学力不足の学生に対する指導、助言等が行われているか ・ オフィスアワーの設定、ネットワークを活用した学習相談等、各大学固有の事情等に 応じて、学習相談、助言等の学習支援が行われているか ・ 障害のある学生、留学生、その他履修上特別な支援を要する学生に対する学習支援が行われているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 履修指導の実施状況 ・ 学習相談の実施状況 ・ 履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況 ・ 担任制、チューター制の実施状況 ・ 留学生に対する外国語による情報提供（時間割、シラバス等） ・ 障害のある学生に対する支援（ノートテーカー等） ・ 特別クラス、補習授業の開設状況 ・ 学習支援の利用実績が確認できる資料 ・ 学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われていること が分かる資料
					各研究科	<ul style="list-style-type: none"> ・ ガイダンス、担任制、学習成果の状況の組織的把握と対応、学習計画の指導、能力別クラス分け、基礎学力不足の学生に対する指導、助言等が行われているか ・ オフィスアワーの設定、ネットワークを活用した学習相談等、各大学固有の事情等に 応じて、学習相談、助言等の学習支援が行われているか ・ 障害のある学生、留学生、その他履修上特別な支援を要する学生に対する学習支援が行われているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習相談の実施状況 ・ 履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況 ・ 留学生に対する外国語による情報提供（時間割、シラバス等） ・ 障害のある学生に対する支援（ノートテーカー等） ・ 特別クラス、補習授業の開設状況 ・ 学習支援の利用実績が確認できる資料 ・ 学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われていること が分かる資料
					教務委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 履修登録に関する体制が整備されているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 履修登録、履修辞退に関する体制の整備状況

担当	実施時期 (頻度)	モニタリング・レ ビュー実施機関	評価観点	番号	実施機 関	視点の例	モニタリング・レビュー 根拠資料・データ例
				5-3	教務委 員会	・障害のある学生、留学生、その他履修上特別な支援を要する学生に対する学習支援が行われているか	・定期試験に関する合理的な配慮 ・コロナ禍における学生の個別状況に応じた履修への対応
	毎年	保健福祉学各学科 保健福祉学研究科 ヘルスイノベーション 研究科	6 教育課程方針に則して、 <u>公正な成績評価</u> が厳格かつ客観的に実施されていること	6-1	各学科	・学生の成績評価基準が組織として策定され、学生に周知されており、その基準に従って、成績評価、単位認定が適切に実施されているか ・成績評価等の客観性、厳格性を担保するための組織的な措置が講じられているか ・卒業研究の評価について、評価基準や審査手続きが明確にされ、学生に周知され、その基準に従って適切に実施されているか ・卒業認定基準が組織として策定され、学生に周知されており、その基準に従って卒業認定が適切に実施されているか	・成績評価基準、成績評価方法、GPA制度の実施状況の資料や、評価基準等を学生に示した資料 ・成績評価の分布表、成績評価等の客観性、厳格性を担保するための組織的な措置が確認できる資料 ・学生からの成績評価に関する申立ての手続きや学生への周知等が明示されている資料 ・申立ての内容及びその対応、申立ての件数等の資料・データ ・卒業認定基準、それを学生に示した資料 ・卒業研究に係る評価基準、審査手続き等や、それらを学生に示した資料
				6-1	各研究 科	・学生の成績評価基準が組織として策定され、学生に周知されており、その基準に従って、成績評価、単位認定が適切に実施されているか。 ・成績評価等の客観性、厳格性を担保するための組織的な措置が講じられているか。 ・学位論文または課題研究報告書の評価について、評価基準や審査手続きが明確にされ、学生に周知され、その基準に従って適切に実施されているか。 ・修了認定基準が組織として策定され、学生に周知されており、その基準に従って修了認定が適切に実施されているか	・成績評価基準、成績評価方法、GPA制度の実施状況の資料や、評価基準等を学生に示した資料（シラバス等）。 ・成績評価の分布表、成績評価等の客観性、厳格性を担保するための組織的な措置などが確認できる資料。 ・学生からの成績評価に関する申立ての手続きや学生への周知等が明示されている資料。 ・申立ての内容及びその対応、申立ての件数等の資料・データ。 ・修了認定基準それを学生に示した資料。 ・学位論文または課題研究報告書に係る評価基準、審査手続き等や、それらを学生に示した資料。 ・学位論文または課題研究報告書の審査体制、審査員の選考方法が確認できる資料。 ・審査及び試験に合格した学生の学位論文または課題研究報告書。
	毎年	保健福祉学各学科 保健福祉学研究科 ヘルスイノベーション 研究科 教務委員会	7 大学等の目的及び学位授与方針に則して、 <u>公正な卒業(修了)判定</u> が実施されていること	7-1	教務委 員会	・学位授与方針に則して卒業又は修了の要件が策定され評価の基準が明確であり、それらが学生に周知され、卒業又は修了の認定が適切に行われているか	・学位規程 ・卒業又は修了の要件を定めた規定 ・卒業判定の手続きの手順 ・学位論文の審査に係る手続き及び評価の基準 ・学生便覧
				7-1	各研究 科	・学位授与方針に則して修了の要件が策定され評価の基準が明確であり、それらが学生に周知され、修了の認定が適切に行われているか	・学位規程 ・修了要件を定めた規定 ・修了判定の手続きの手順 ・学位論文または課題研究報告書の審査に係る手続き及び評価の基準 ・修了要件を学生に対して周知している
	毎年	保健福祉学研究科 ヘルスイノベーション 研究科	8 専門職学位課程を除く大学院課程においては、 <u>研究指導、学位論文</u> （特定課題研究の成果を含む。）に係る指導の体制が整備され、 <u>適切な計画</u> に基づいて指導が行われていること。	8-1	各研究 科	・指導体制の整備状況、指導の実施状況（研究倫理に関する教育・指導を含む。）が適切に行われているか。 ・キャリア開発の指導が組織的に行われているか。	・研究指導計画書、研究指導報告書等、指導方法が確認できる資料。 ・複数教員による指導体制などの指導体制が確認できる資料。 ・国内外の学会への参加を促進している場合は、その状況が確認できる資料。 ・他大学や産業界との連携により、研究指導を実施している場合は、その状況が確認できる資料。 ・TA・RAとしての活動を通じた能力の育成、教育的機能の訓練を行っている資料。
	毎年	保健福祉学各学科 保健福祉学研究科 ヘルスイノベーション 研究科	9 大学等の目的及び学位授与方針に則して、 <u>適切な学習成果</u> が得られていること <u>期待される学修成果</u> を学生が達成しているか	9-1	各学科	・各学年や卒業（修了）時等において学生が身に付けるべき知識・技能・態度等について、学修成果が上がっているか。特に、学生が何を学んだかよりも、学生が何をできるようになったかという視点を重視する。 ・学修の達成度や満足度に関する学生からの意見聴取の結果等から判断して、学修成果が上がっているか。	・国家試験の合格率と就職状況
				9-1	各研究 科	・修了時において学生が身に付けるべき知識・技能・態度等について、学修成果が上がっているか。特に、学生が何を学んだかよりも、学生が何をできるようになったかという視点を重視する。 ・学修の達成度や満足度に関する学生からの意見聴取の結果等から判断して、学修成果が上がっているか。	・シラバス ・授業科目の成績評価結果や成績分布 ・学生による授業評価の結果 ・学修の達成度や満足度に関する在学生や卒業時点の学生の自己評価（アンケート調査やインタビューなど）。

担当	実施時期 (頻度)	モニタリング・レビュー実施機関	評価観点	番号	実施機関	視点の例	モニタリング・レビュー 根拠資料・データ例
	毎年	総務課	10 教育実施体制が適切か	10-1	総務課	<ul style="list-style-type: none"> 教育活動を展開するために適切な教員や教育支援者が配置されているか。 教員の専門分野と担当授業やカリキュラムの関係は適切か。 教育能力向上の取組が組織として機能しているか 	<ul style="list-style-type: none"> 教員の数（専任教員数、学生教員比率、非常勤講師数など）。 教員の構成（男女比、博士号取得率）。 教員支援の体制。
	毎年	進路支援ワーキング	11 卒業（修了）後の状況等から判断して、期待される学修成果が上がっているか。	11-1	進路支援WG	<ul style="list-style-type: none"> 就職や進学といった卒業（修了）後の進路の状況等の実績から判断して、学修成果が上がっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 進学率や進学先の状況。 就職率や教育目的と就職先の業種・職種の関係。 求人数
				11-2	進路支援WG	<ul style="list-style-type: none"> 卒業（修了）生や就職先等の関係者からの意見聴取の結果から判断して、学修成果が上がっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業生に対する雇用者からの評価調査。 卒業生の社会での活躍等が確認できる資料。
施設整備	毎年	総務・企画委員会 保健福祉学研究科 ヘルスイノベーション 研究科 教務委員会 図書委員会	12 教育研究組織及び教育課程に対応した施設及び設備が整備され、有効に活用されていること		総務・企画委員会	教育研究活動を展開する上で必要な施設・設備を法令に基づき整備していること。	<ul style="list-style-type: none"> 校地、校舎の基準面積について、設置基準で規定されている面積に係る基準を満たしていることを確認する。 (根拠資料・データ) 学校基本調査、公大協基本調査【総務課】
							<ul style="list-style-type: none"> 施設・設備としては、大学設置基準に規定されている「校地、運動場、体育館、研究室、講義室、演習室、実験・実習室、情報処理学習のための施設、語学学習のための施設その他の施設等」について確認する。 (根拠資料・データ) 学校基本調査、公大協基本調査【総務課】
							<ul style="list-style-type: none"> 施設・設備の老朽化に対する対応の状況について確認する。 (根拠資料・データ) 「県立保健医療福祉大学（仮称）特定事業に係るモニタリング」の報告書【財務課】
							<ul style="list-style-type: none"> 外灯や防犯カメラの設置等、各大学固有の事情等に応じて安全・防犯面への配慮がなされていることを確認する。 (根拠資料・データ) 「県立保健医療福祉大学（仮称）特定事業に係るモニタリング」の報告書【財務課】
				12-2	総務・企画委員会	教育研究活動を展開する上で必要なICT環境を整備し、それが有効に活用されていること	<ul style="list-style-type: none"> 整備状況については、ICT環境の整備充実に向けた取組に加え、これらを維持・管理するためのメンテナンスやセキュリティ管理が行われているかについて確認する。 (根拠資料・データ) システム障害依頼・対応件数（横須賀キャンパス、SHI）【総務課】
施設整備	毎年	保健福祉学研究科 ヘルスイノベーション 研究科 教務委員会 図書委員会	12 教育研究組織及び教育課程に対応した施設及び設備が整備され、有効に活用されていること	12-2	各研究科	教育研究活動を展開する上で必要なICT環境を整備し、それが有効に活用されていること	<ul style="list-style-type: none"> 日常の講義での運用状況 学習支援システム（Manaba、Clevas等）の活用状況 システムに係る学生や教職員からの要望等の状況
					教務委員会		<ul style="list-style-type: none"> オンライン授業のためのマニュアル整備およびオリエンテーション実施の状況、Zoomによるオンライン授業の実施状況、学習支援システム（Manaba、Clevas）の利用状況
					12-3	図書委員会	<ul style="list-style-type: none"> 大学組織としての一部としての図書館において、教育研究上必要な資料を利用可能な状態に整備し、有効に活用されていること
学生支援	毎年	学生委員会 進路支援ワーキング 国際協働部門会議 人権・倫理委員会 保健福祉学研究科 ヘルスイノベーション	13 学生の履修、学習・生活、進路、課外活動、各種ハラスメントの防止、経済面への支援等に関する相談・助言、支援が行われていること	13-1	学生委員会	学生の学習・生活に関する相談・助言体制を整備し、必要な支援を行っていること	<ul style="list-style-type: none"> チューター制：チューター会の開催・相談等の支援状況 クラス担任制：個別相談等の支援状況 全教員のオフィスアワーの設定 学生表彰／阿部志郎記念賞の表彰者数 学習・生活支援に関する調査結果（毎年の予定）
					各研究科		<ul style="list-style-type: none"> 学生との意見交換会等 学生アンケート

担当	実施時期 (頻度)	モニタリング・レ ビュー実施機関	評価観点	番号	実施機 関	視点の例	モニタリング・レビュー 根拠資料・データ例	
		研究科		13-2	学生委員会	学生の心とからだの健康に関する相談・助言体制を整備し、必要な支援を行っていること	・定期健康診断、学外実習に伴う諸検査の実施の学生数 ・学生相談室の利用状況 ・医務室の利用者数 ・校医によるメンタルヘルス講習会の実施の参加者数	
				13-3	学生委員会	学生自治会活動、学生団体活動、うみかぜ祭等の課外活動が円滑に行われるよう、必要な支援を行っていること	・学生団体（サークル）数 ・学生団体（サークル）への経済的支援 ・学生の学内外の活動の成果報告 ・うみかぜ祭の来場者数	
				13-4	学生委員会	障がいのある学生、その他特別な支援を行うことが必要と考えられる学生への相談・助言体制を整備し、必要な支援を行っていること	・障がいのある学生数と対応体制	
					各研究科		・障がいのある学生数と対応体制	
				13-5	学生委員会	経済的理由から修業が困難な学生の経済面での支援を行っていること	・各種奨学金（修学資金5種、学科対象の奨学金制度）の受給率 ・授業料減免の適用率 ・新型コロナウイルス感染症による経済的支援の受給率 ・県立大学学生居住支援事業（入居学生数）	
				13-6	進路支援WG	学生の就職等進路に関する相談・助言体制を整備し、必要な支援を行っていること	・進路状況報告書（各学科仕様） ・就職試験対策講座（面接試験、小論文対策） ・個別相談体制（進路支援委員、担任） ・進路支援委員、担任、所属教員の連携	
				13-7	進路支援WG	大学全体で就職等進路に関するガイダンスや合同説明会を実施し、進路選択に必要な支援を行っていること	・進路支援ガイダンス資料 ・病院・施設説明会資料（参加施設数、学生の参加者数等） ・説明会参加者向けアンケート	
				13-8	進路支援WG	就職等進路に関する情報や各種資料及びデータベースとして整理し、進路選択に必要な支援を全学的に行っていること	・進路状況報告書（共通データベース、ポートフォリオ） ・進路ガイドブックの発行 ・学生への就職支援の満足度調査 ・進路支援WG会議の定期的開催 ・就職試験データベースの構築	
施設整備	毎年	学生委員会 進路支援ワーキング 国際協働部門会議 人権・倫理委員会 保健福祉学研究科 ヘルスイノベーション研究科	13	13-9	国際協働部門	留学生の学習・生活に関する相談・助言体制を整備し、必要な支援を行っていること	・留学生との意見交換会の開催数、参加者数、説明資料（英語版） ・留学生との交流会のアンケート結果	
				13-10	人権・倫理委員会	人権・倫理委員会：ハラスメント防止のため相談体制を整備し、必要な支援を実施できているか	・1年生のハラスメント研修受講後のアンケート結果、大学全体のハラスメントに関するアンケートの結果、相談件数	
学生受入	5,6年毎又は方針に変更があった時	学部入試委員会 保健福祉学部研究科入試委員会 ヘルスイノベーション研究科入試委員会	14	学生受入方針が明確に定められていること	14-1	学部入試委員会 各研究科入試委員会	・求める学生像が明確に定められているか。 ・求める学生像が明確に定められているか。	・アドミッションポリシー ・アドミッションポリシー
					15-1	学部入試委員会	・入学者選抜の基本方針が明確に定められているか。	・合否判定基準 ・合否判定の実施体制
	15-2	・入学者選抜が適切かつ公正に実施されているか。	・入学試験実施状況 ・入学者の構成がわかるデータ（国籍、ジェンダー、年齢、地域、社会人の場合には前歴など）。 ・入試の作問と審査の手続き、問題と解答の公表（追試験等への対応） ・採点方法（マスクング、複数名での採点・確認等） ・面接試験（試験結果のマスクング、専門分野の異なる複数名体制） ・合否判定（マスクング、合否判定までの段階的な確認）					
	15-3	・プログラムに十分な学生が応募し、入学しているか。	・入学希望者（応募者、受験者）、合格者、入学者の時系列変化のデータ					

担当	実施時期 (頻度)	モニタリング・レ ビュー実施機関	評価観点	番号	実施機 関	視点の例	モニタリング・レビュー 根拠資料・データ例	
	毎年		15 学生の受入が適切に実施されていること	15-4		・ 入学生の構成はアドミッション・ポリシー(AP)に適合したものになっているか。	・ 休学、退学者数	
				15-5		・ 留学生、社会人、編入学生の数や質は適切か	・ 留学生、社会人、編入学生の入学希望者（応募者、受験者）、合格者、入学生の時系列変化のデータ	
				15-6		・ 学修成果に即して入学者選抜の検証を行い改善を図っているか	・ 休学・退学者、成績不良者と入試区分の関連	
				15-7	保健福祉学 研究科入 試委員 会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入学者選抜の基本方針が明確に定められているか。 ・ 入学者選抜が適切かつ公正に実施されているか。 ・ プログラムに十分な学生が応募し、入学しているか。 ・ 入学生の構成はアドミッション・ポリシーに適合しているか。 ・ 留学生、社会人、進学者の数や質は適切か ・ 学修成果に即して入学者選抜の検証を行い改善を図っているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入学試験実施状況 ・ 入学生の構成がわかるデータ（国籍、ジェンダー、年齢、地域、社会人の場合には前歴など）。 ・ 入試の作問と審査の手続き、問題の公表 ・ 採点方法（複数名での採点・確認等） ・ 面接試験（複数名体制） ・ 合否判定（合否判定までの段階的な確認） ・ 入学希望者（応募者、受験者）、合格者、入学生の時系列変化のデータ ・ 休学、退学、長期履修者数 ・ 留学生、社会人の入学希望者（応募者、受験者）、合格者、入学生の時系列変化のデータ ・ 休学・退学者、成績不良者と入試区分の関連 	
	15-8	SHI研究 科入試 委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入学者選抜の基本方針が明確に定められているか。 ・ 入学者選抜が適切かつ公正に実施されているか。 ・ 定員を満たす学生が応募し、入学しているか。 ・ 入学生の構成はアドミッション・ポリシーに適合しているか。 ・ 留学生の数や質は適切か ・ 学修成果に即して入学者選抜の検証を行い改善を図っているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アドミッションポリシー ・ 入学試験実施状況（採点体制、資料等） ・ 応募状況 ・ 退学者数 ・ 留学生の入学希望者（応募者、受験者）、合格者、入学者数 				
	毎年	学部入試委員会 保健福祉学部研究科入 試委員会 ヘルスイノベーション 研究科入試委員会	16 実入学者数が入学定員に対して適正な数となっていること	16-1	学部入試 委員会	・ 入学者数が適正か	定員充足状況データ	
					各研究 科入試 委員会	・ 入学者数が適正か	定員充足状況データ	
	教育研 究活動 支援	毎年	FD・SD委員会	17 授業の内容及び方法の改善を図るためのFDを組織的に実施している	17-1	FD・SD 委員会	授業の内容及び方法の改善を図るためのFDを組織的に実施しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業改善に係るFD研修実施回数及び内容 ・ 研修後アンケート結果